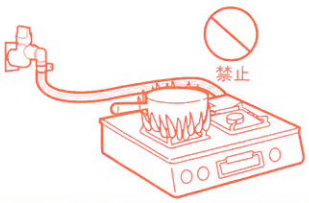
2. 危険な使用方法と日常点検

■危険な使用方法と注意事項について代表事例を記載しています。日頃から日常点検を行い安全にお使い頂くようお願いします。

⚠危険

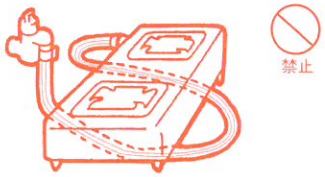
炎が直接触れたり、熱影響を受ける可能性がある使い方は絶対にしないでください。

■ゴム管はゴム製品ですので、熱影響を受けると焼損する可能性があり、ガスが漏れて大変危険です。



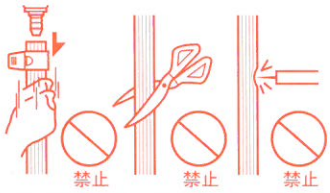
ガス機器の下にゴム管を通すと炎の熱影響を受けます。絶対にしないでください。

■ガスコンロやグリルの下にゴム管を通すと、熱影響を受け、焼損する可能性があり、ガスが漏れて大変危険です。



ガス栓を開いたまま、引き抜いたり、切ったり、突いたり絶対にしないでください。

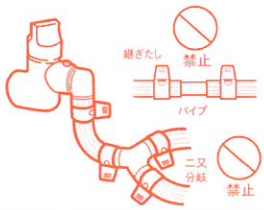
■故意にゴム管を抜いたり、切断したりすると、ガスが漏れて大変危険です。



⚠警告

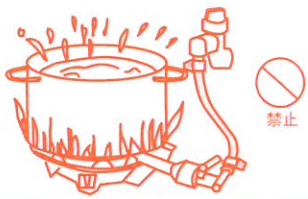
ゴム管を継ぎたして使用しないでください。

■ゴム管の継ぎたしや二又分岐は、ガス機器が立ち消えしたり、接続部が外れたり、ガス漏れの原因となり危険です。



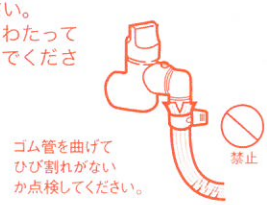
過酷な環境下では早めに取り替えてください。

■油や熱がかかる場所ではゴム管の劣化が進みやすいので、早めに取り替えてください。



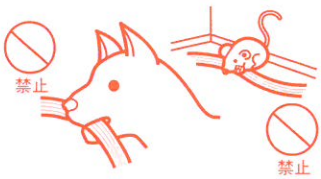
以下の場合は交換してください。

■ひび割れ、変色、膨潤、硬化、ふくれ、傷などの異常が認められたら、ただちに取り替えてください。
■機器を取り替える際には、新品のゴム管と取り替えてください。
■長い年月にわたって使用しないでください。



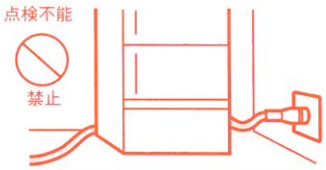
ネズミや犬にも注意が必要です。

■小動物がゴム管をかじると、ガスが漏れる可能性があります。
■日常点検を行い傷が認められたら、ただちに新しいゴム管に取り替えてください。



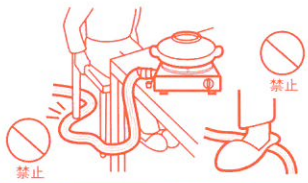
点検できないところでは使用を避けてください。

■冷蔵庫の裏などの見えにくい場所では、小動物などにかじられやすいうえ、日常点検ができないので、取り付けを避けてください。



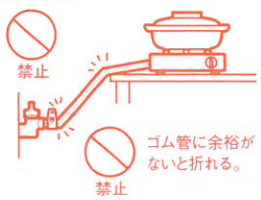
踏みつけたり、硬いものではさまないでください。

■足や椅子などで踏みつけたりすると、ガスの流れが止まり、炎が立ち消えしたり、ゴム管が劣化する可能性があります。



余裕のない長さでは使用しないでください。

■長さに余裕がない場合は、ゴム管が折れてガスの流れが止まり、炎が立ち消えする可能性があります。
■ゴム管が抜けやすくなり、ガス漏れの原因となりますので危険です。



必要以上の長さでは使用しないでください。

■常時使用であれば3m以下、一時的な使用でも5m以下でご使用ください。
■長すぎると足をひっかけて外れたり、折れてガスが流れなくなることで火が消えたり、ガス機器が倒れるなど、予期せぬ事故につながります。部屋をまたいでの使用もしないでください。

日頃から日常点検を行ってください。ゴム管を取り外すときは、必ずガス栓を閉め、専用のガス栓キャップを取り付けてください。

■ゴム管を指で折り曲げて、ひび割れがないか確認してください。
■汚れがひどい時は、台所用中性洗剤を薄めて濡れ雑巾で拭いてください。
■お手入れ時に塩素系洗剤は使わないでください。

ゴム管の長さ調整

■ゴム管は適当な長さ(少したるみのある状態)に調整して取り付けてください。
■長さ調整は、ゴム管を引っ張りながら、ハサミやカッターを使い、切断面が直角になるよう怪我に注意して切断してください。

⚠注意

■ゴム管は主に「ゴム」よりできており、これらの材料は時間と共に劣化します。■外観に異常が認められなくても、3年程度を目安に取り替えてください。
■ゴム管をガス栓や器具に取り付ける際は、接続部が硬くなったり、ゆるんでいないかなどを確認してご使用ください。接続部が硬くなったり、ゆるんでいる場合は、ガス漏れの原因となりますので、すぐに新しいゴム管に取り替えてください。

製造元 TOGAWA 株式会社十川ゴム
〒550-0015 大阪市西区南堀江4丁目2番5号
TEL.（06）6538－1261（代）

911011 ③ 014